

調査レポート

RESEARCH
REPORT

生成AIのビジネス活用 に関するアンケート調査

生成AIを業務に活用している企業は全体で約4割となり、業種分野によって導入状況に差が見られた。主な活用目的は業務効率化であり、文章作成や要約など日常業務の支援に活用されている。生成AIを活用している企業の多くが効果を実感しており、活用範囲が広がるほど、その実感度も高まる傾向が見られた。

調査概要

○調査時期

令和7年4月1日(火)～15日(火)

○調査方法

メール・FAXで送付
Webフォームで回答

○調査対象

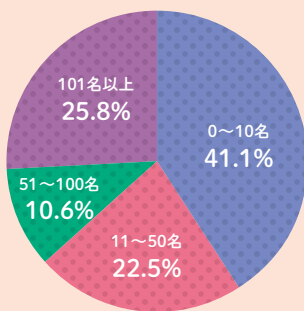
会員事業所のうち、
無作為に抽出した1000件

○回答数 151件 (回答率15.1%)

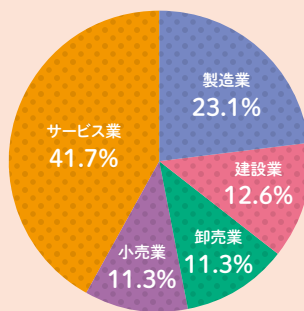
(生成AIとは…)

ChatGPTやGeminiなどの
言語モデルを基盤とし、チャットを
介してテキスト・画像・音声・動画を
自動生成する人工知能。

グラフ2 従業員規模

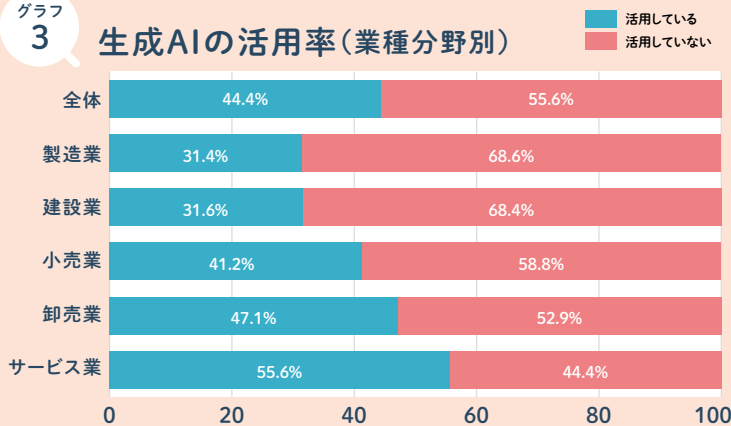


グラフ1 業種分野



グラフ3

生成AIの活用率(業種分野別)

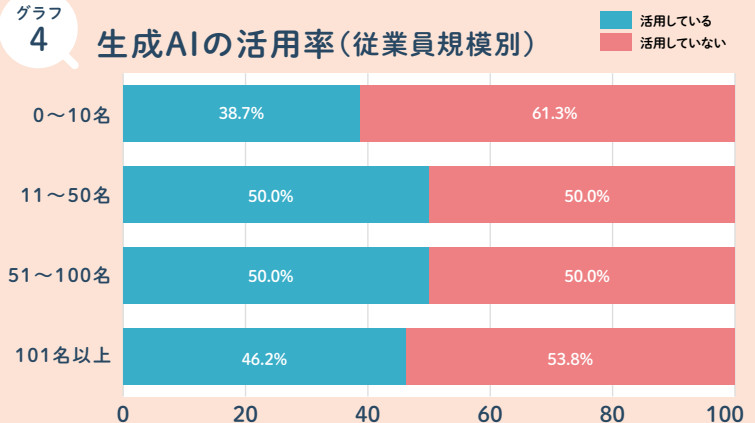


生成AIの活用状況

生成AIを業務で活用している企業は全体で44.4%であった。業種分野別では、サービス業の活用率が55.6%と最も高く、製造業および建設業では約3割にとどまっている。(グラフ3)
従業員規模別では、0～10名の企業では活用率が38.7%にとどまる一方で、11～50名、51～100名、101名以上の企業ではいずれも約5割となっており、規模が大きくなるほど、活用が進んでいる。(グラフ4)

グラフ4

生成AIの活用率(従業員規模別)



生成AIを活用している目的・業務

生成AIを活用している目的として「業務効率化(コスト削減)」が88.1%と最も多く、次いで「意思決定のプロセス」(28.4%)となった。(表1)
具体的な活用業務については、文章作成・要約(議事録・メール・挨拶文など)が74.6%と最も多く、次いで「アイデア出し」(53.7%)となり、生成AIは、主に日常的な定型業務を迅速かつ正確に行うための手段として活用されている。(表2)

表1 生成AIを活用している目的

	構成比
業務効率化（コスト削減）	88.1%
意思決定のプロセス	28.4%
人手不足への対応	25.4%

表2 生成AIを活用している業務

	構成比
文書作成・要約（議事録・メール・挨拶文など）	74.6%
アイデア出し	53.7%
情報収集	52.2%

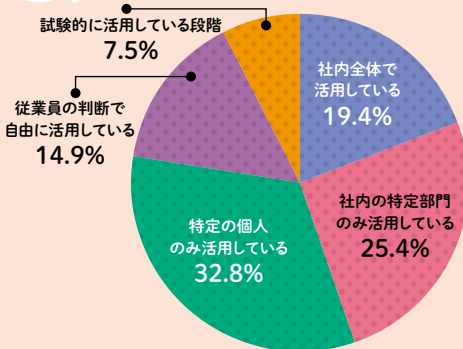
Q 生成AI活用による効果

生成AIの活用について、全体の86・6%が効果を実感している。また、従業員規模別では、0～10名の企業では91・7%が効果を実感している一方、101名以上の企業では77・8%にとどまっている。（グラフ5）

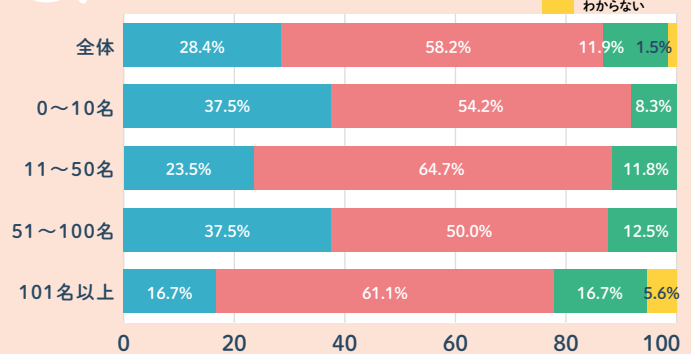
生成AIの活用範囲として「特定の個人のみ活用している」が32・8%と最も多い一方で、「社内全体で活用している」は19・4%にとどまり、全社的な活用は限定的である。（グラフ6）
生成AIの活用範囲が広い企業ほど効果を実感しており、社内全体で活用している企業では92・3%が効果を実感しているのに対し、特定の個人のみ活用している企業では、77・2%にと

どまっている。（グラフ7）

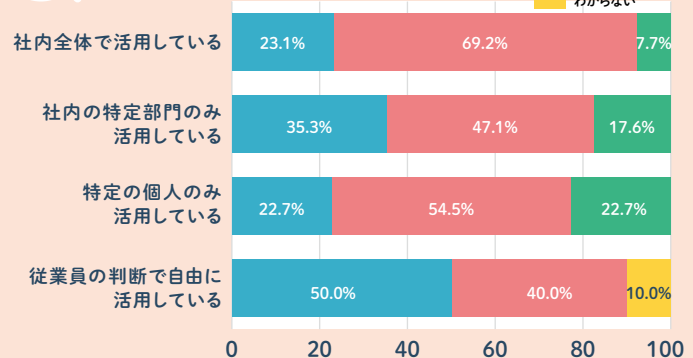
グラフ6 生成AIの活用範囲



グラフ5 生成AI活用による効果の実感度



グラフ7 生成AIの活用範囲×効果



Q 生成AI活用における障壁・課題

生成AIを活用していない企業では、「生成AIを活用すべき業務が不明確」（51・2%）や「生成AIの活用にかかる人材・ノウハウ不足」（47・6%）が主な理由であり、具体的な活用イメージの欠如や体制の不足が障壁となっている。また、「生成AIの必要性を感じない」との声も一定数あり、活用目的や効果が明確になっていないことも要因と考えられる。（表3）
生成AIを活用している企業では、「情報漏洩などセキュリティ不安」は、「情報漏洩などセキュリティ不安」

表3 生成AIを活用していない理由

	構成比
生成AIを活用すべき業務が不明確	51.2%
生成AIの活用にかかる人材・ノウハウ不足	47.6%
生成AIの必要性を感じない	29.8%

表4 生成AIを活用する中での課題・懸念

	構成比
情報漏洩などセキュリティ不安	50.7%
生成AIの情報の正確性	47.8%
プライバシー保護など法的な規制	37.3%

（50・7%）や「生成AIの情報の正確性」（47・8%）への懸念が根強く、情報漏洩や誤情報の出力といったリスクに対して強い不安を抱いている。（表4）

お問い合わせ

福井商工会議所
産業技術・DX推進課

TEL
0776-33-8252

詳しくはこちら

